

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

15	精神機能作業療法における検査法を学ぶ	[担当] 中込	講義	事前に教科書 p486-497 の予習をする。	1
16	集団における評価を学ぶ (コミュニティと集団の特性)	[担当] 中込	講義	事前に教科書 p498-504 の予習をする。	1
17	精神疾患の回復過程とリカバリー論を学ぶ (精神科リハビリテーションとパーソナル・リカバリー)	[担当] 中込	講義	事前に教科書 p509-511 及び提示資料の予習をする。	1
18	疾患別の評価事例を学ぶ	[担当] 中込	講義・演習	事前に教科書 p514-539 の予習をする。	1
19	高齢期の精神・心理的特徴に関連した評価について学ぶ (意欲・抑うつ、廃用症候群など)	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p588-592 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
20	高齢期の精神・心理的特徴に関連した評価について学ぶ (全般的な認知機能)	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p588-592 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
21	高齢期の精神・心理的特徴に関連した評価について学ぶ(全般的な認知機能)	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p588-592 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
22	高齢期の精神・心理的特徴に関連した評価について学ぶ (全般的な認知機能)	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p588-592 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
23	認知症重症度、BPSD (行動・心理症状) 等の評価について学ぶ	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p592-604 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
24	認知症重症度、BPSD (行動・心理症状) 等の評価について学ぶ	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p592-604 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
25	高齢期における ADL 等の諸活動に関連する評価について学ぶ	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p604-611 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
26	高齢期における ADL 等の諸活動に関連する評価について学ぶ	[担当] 榎田	講義・演習	事前に教科書 p604-611 と配布資料を用いて予習する。演習・実技を行うなかで重要なポイントのフィードバックをする。	1
27	高次脳機能障害に対する評価を学ぶ (注意・記憶)	[担当] 小沢	講義・演習	事前に教科書 p418-440 の予習をする。講義終了後確認テストを行い、フィードバックをする。(1
28	高次脳機能障害に対する評価を学ぶ (遂行機能・社会的行動障害)	[担当] 小沢	講義・演習	事前に教科書 p418-440 の予習をする。講義終了後確認テストを行い、フィードバックをする。(1
29	高次脳機能障害に対する評価を学ぶ (失語・失行)	[担当] 小沢	講義・演習	事前に教科書 p418-440 の予習をする。講義終了後確認テストを行い、フィードバックをする。(1
30	高次脳機能障害に対する評価を学ぶ (失認・半側空間無視)	[担当] 小沢	講義・演習	事前に教科書 p418-440 の予習をする。講義終了後確認テストを行い、フィードバックをする。(1
試	定期試験				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	✓	試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書、配布プリントを参照し要点を再確認する。
	②	✓	
	③	✓	
	④	✓	
	⑤		
	⑥		

評価学の基礎概念、観察・面接及び各検査法の評価に関する知識について、筆記試験を実施する。
試験は講義で使用した教科書・配布プリント、講義において説明した内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。
問題(解答)形式は記述・穴埋め、選択式の100点満点。

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

		評価のポイント		フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	小沢 健一、中込 慶太			
教員の実務経験	本科目を担当する教員は作業療法士として 10 年以上の実務経験を有している。			
実践的授業の内容	臨床における評価治療で得た知見に基づき、実際の評価バッテリーを用いて展開する。また患者の症候や状態を画像・動画などで紹介し、視覚的な学びの手法として学生の理解を促す。			
そ の 他	<p>本科目は 2 時限連続の授業である。評価を学生同士で行うことで必要な知識・技術・態度の修得を目指すため、欠席等で迷惑のかからぬように各自体調管理等に留意すること。</p> <p>本科目は対面授業を実施するため、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。</p> <p>授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがあるので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意すること。</p>			